

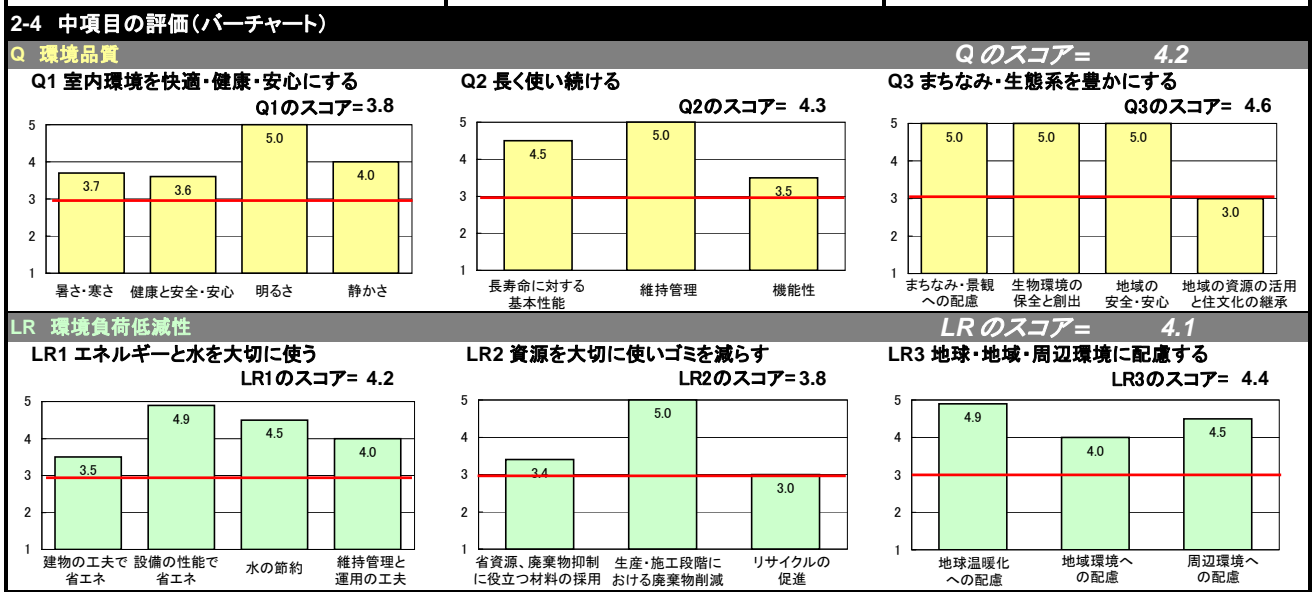
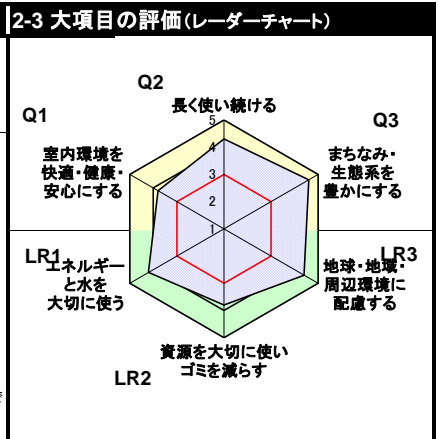
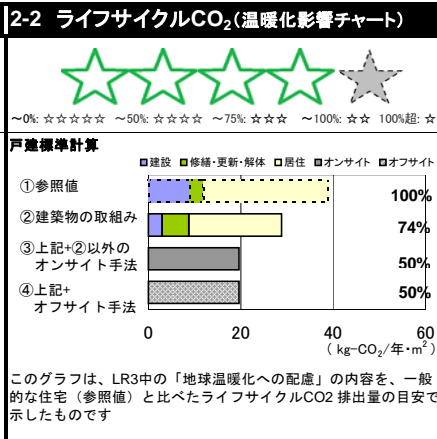
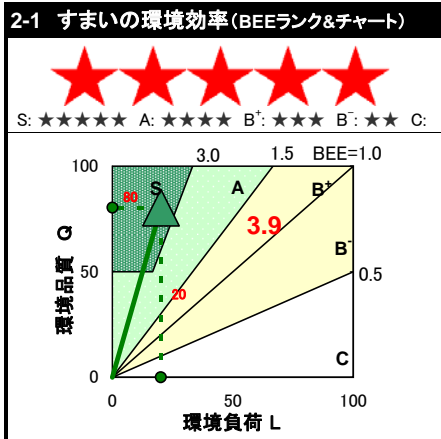
CASBEE[®] 戸建-新築

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE戸建-新築 (2010年版)

■使用評価ソフト: CASBEE_DH-NC_2010v1.2

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	パワーホーム美山ヒルズNo.11	仕様等の確定状況	建物の仕様	確定	
竣工年月	2011年7月	竣工	持ち込み家電等	一部確定	
建設地	愛知県豊田市	確定	外構の仕様	確定	
用途地域	準工業地域	確定	<備考>		
省エネルギー地域区分	IV		評価の実施日		
構造・構法	木造在来軸組工法	確定	作成者		
敷地面積	136 m ²	確定	確認日		
建築面積	53 m ²	確定	確認者		
延床面積	99 m ²	仮			
世帯人数	4				



3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>耐震等級は最高等級3、省エネルギー対策等級は地域区分II地域で最高等級の4を満たし、長期優良住宅の認定を受けています。また、太陽光発電システムやエコキュートなどを採用しCO₂排出量の50%以上の削減を確保し、環境性能を高めています。すまいの環境効率をSランク、ライフサイクルCO₂緑★4を取得しています。</p>	<p>その他</p> <p>木造住宅はCO₂固定化に貢献する環境に良い住宅です。地域環境に配慮した、長く快適に住み続けられる高い建物性能と、再生可能なエネルギーの活用により、ライフサイクルCO₂の☆☆☆☆を取得しています。</p>	
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>主要な居室について夏季の風上側・風下側の2方向に開口を設けることで、風通しに配慮した快適な室内環境をつくり出しています。また、サッシを採用し、の遮音性能に優れた静かな住環境にすることで快適なすまいを実現します。</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>維持管理対策等級、劣化対策等級で最高等級を取得。外装材には、交換する際に下地を破損しない取り付け方法を採用しています。また、長期優良住宅として、住宅履歴情報蓄積登録機関を活用した履歴や維持管理のサポートを行います。</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>街並みを配慮して外構イメージを統一し、景観の調和を図っています。また、見通しの良いオープン外構とし、防犯性も高めているほか、緑化面積を確保することで生物環境を創出しています。</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>建物の熱負荷を抑制するために、サッシはアルミ樹脂複合サッシを使用。太陽光発電による創エネを行うとともにエネルギー効率の高い住宅設備機器を使用します。また、節水器具を使用し、節水します。住まい方ガイドにより住まい手の意識向上を誘導します。</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>外装・内装材では省資源・廃棄物抑制する材料を採用、外構にはリサイクル材を使用しています。生産段階では別刷工場生産となるプレカット木造軸組工法を採用。住宅履歴情報蓄積登録機関として住宅履歴システムを採用し、住まい手に使用材料の情報提供を行うことで、リサイクル促進につなげます。</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>自主性植物の育成に配慮した緑化を行います。なお、雨水の排水処理にかかる負荷を抑制するために、外構面積の過半について浸透可能な植栽地・砂利敷とし、また浸透設備を設置して、環境への配慮を行っています。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (すまいの環境品質), L: Load (すまいの環境負荷), LR: Load Reduction (すまいの環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (すまいの環境効率)
 ■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE戸建-新築の場合、BEE_{II}、Q₁、LR₁などとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
 ■「ライフサイクルCO₂」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す